

高時小学校からの報告

活動団体名： 高時小学校


活動人数： 12人（教員2人）

取組時間： 総合的な学習の時間

調査内容 1回目：5月26日（金） 草野川上流 ☁ 2回目：6月1日（木） 大谷川中流 ☀
3回目：7月7日（金） 大谷川下流 ☀

1回目は、「やまのこ」活動の中で、指導員の先生方と川の生き物調べをしました。一緒に参加した伊香具小学校の子どもたちと一緒に草野川の水生生物について分類し、名前を調べたりしました。

2回目・3回目は、オオサンショウウオが育つ大谷川中流・下流で活動をしました。野鳥センターから講師の方と地域でSDGsに関する活動にかかわっておられる方に指導していただきました。まず講師の先生や地域の方から、生き物を傷つけないように生き物を捕まえることや、調べた後は元の場所に返してあげることなどを指導していただきました。3、4年生12人で川の速さ・深さ・水温・川幅なども分担して調査地点の状況について調べました。その後、3つのグループ分かれて水生生物を捕まえたところ、その場指標生物として、カワゲラやヒラタカゲロウやヘビトンボなど水質階級Ⅰの生物が多く、水質階級は1と判定されました。

 ウツセミカジカやタカハヤなどの清流にしかない魚が見つかりました。大谷川の流速は速く、中流の水温は13℃で冷たかったです。

調査員の感想

ぼくはCODと川の中を測りました。CODはピンクでした。雨が降ってすぐだったので、ちょっと濁ったけどきれいな水でした。魚も捕れました。種類は、ウツセミカジカ・タカハヤ・カワムツが捕れました。川の中を測るとき、川の水がすごく冷たかったです。このオオサンショウウオがいるこの大谷川をこれからも守っていきたいです。

捕まえた生き物たち

ブユ、サワガニ、アカハライモリ、オニヤンマのヤゴ、サナエトンボのヤゴ、カワムツ、ウツセミカジカ、タカハヤ、ガガンボ、カワニナ、プラナリア、ヒラタカゲロウ、ヘビトンボ、アブラハヤオニヤンマのヤゴ

調査のまとめ

高時小学校の3・4年生は、総合的な学習の時間にオオサンショウウオについて学習をしています。今年度は、みずすまし活動で学んだことと、地域の方から教えてもらったオオサンショウウオの生態について学んでいくうちに、オオサンショウウオがなぜこの大谷川に生息するのかわかることがありました。オオサンショウウオの排せつ物にサワガニのはさみの破片が見つかったことからオオサンショウウオの大好物がサワガニであることがわかっているそうです。大谷川の中流と下流にもサワガニが多く生息していることがわかりました。みずすまし調査活動でわかったことを、高時小学校の学習発表会や地域の紅葉まつりで、多くの人たちに伝えることができました。今後も地域の自然を守る活動を続けていきたいと思います。



活動の様子



【大谷川中流での事前学習】



【大谷川の下流で川巾を測る活動】



【大谷川中流で水温を測る活動】



【中流で生き物を探す活動】



【大谷川中流でのCODの結果】



【大谷川中流で見つけたカワニナ】



【大谷川中流で生き物を探す活動】



【大谷川下流での調査活動のまとめ】

